



広報 KOGA NO.14

こが
古河



目次

- 2 平成17年度決算
- 6 平成18年度予算の執行状況
- 9 議会定例会
- 10 まなびピアいばらき2006

11 NOVEMBER
2006

平成17年度の決算状況



一般会計

歳入決算額 388億7719万円

歳出決算額 372億6313万円

特別会計合計

歳入決算額 342億 809万円

歳出決算額 338億 982万円

一般会計の概要

歳入 前年度対比11.5%減
自主財源は58.41%

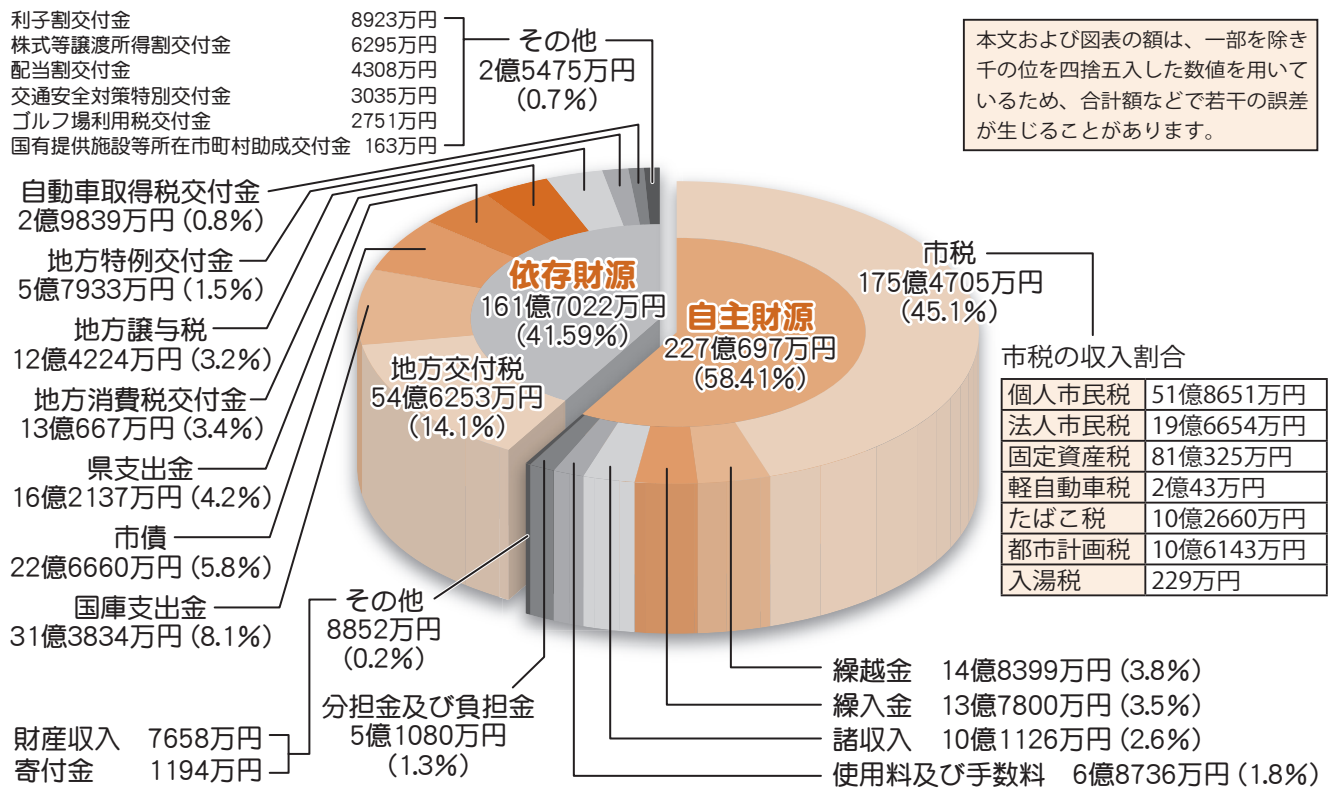
平成17年度の決算状況については、合併前の3市町の打ち切り決算および合併後の決算の合算額(1年分)による決算内容となっています。

市に入ったお金(歳入)は388億7719万円で、平成16年度の決算(3市町合算)と比較してみると、11.5%の減となりました。

皆さんが納めた市税については、個人市民税5.3%の増、法人市民税が13.8%の増、軽自動車税が5.3%の増となりました。反面、たばこ税が3.5%の減、固定資産税および都市計画税が若干の減収となりましたが、市税全体で175億4705万円と、前年度より2.7%の増収となりました。

また、国が国税(所得税・法人税・酒税・たばこ税・消費税)の

一般会計 歳入決算額 388億7719万円



本文および図表の額は、一部を除き千の位を四捨五入した数値を用いているため、合計額などで若干の誤差が生じることがあります。

一定の割合を市に交付する地方交付税は54億6253万円で0.8%の減、地方消費税交付金は13億667万円で7.0%の減、利子割交付金は8923万円で38.1%の減となりました。

なお、地方譲与税では12億4224万円(国の方針として所得税の一部を地方へ委譲することになっており、それまでの暫定措置として所得譲与税交付金2億6989万円が増)で32.3%の増、地方特例交付金は5億7933万円で3%の増となっています。

国庫支出金は31億3834万円で6.0%の増、県支出金は16億2137万円で13.9%の増となりました。

事業を実施するための財源を確保するために財政調整基金2億2495万円、減債基金8億8522万円、新駅設置準備基金1億円等、基金から12億7510万円の繰り入れを行いました。市債として教育事業費に2億4210万円、

農林水産業費に7230万円、土木費に8700万円、消防費に5090万円、減税補てん債2億2740万円、臨時財政対策債15億8690万円、合計22億6660万円の借り入れを行いました。



歳出 前年度対比12.2%減 投資的経費は減

仕事に使われたお金(歳出)は、372億6313万円で、前年度対比12.2%の減となりました。

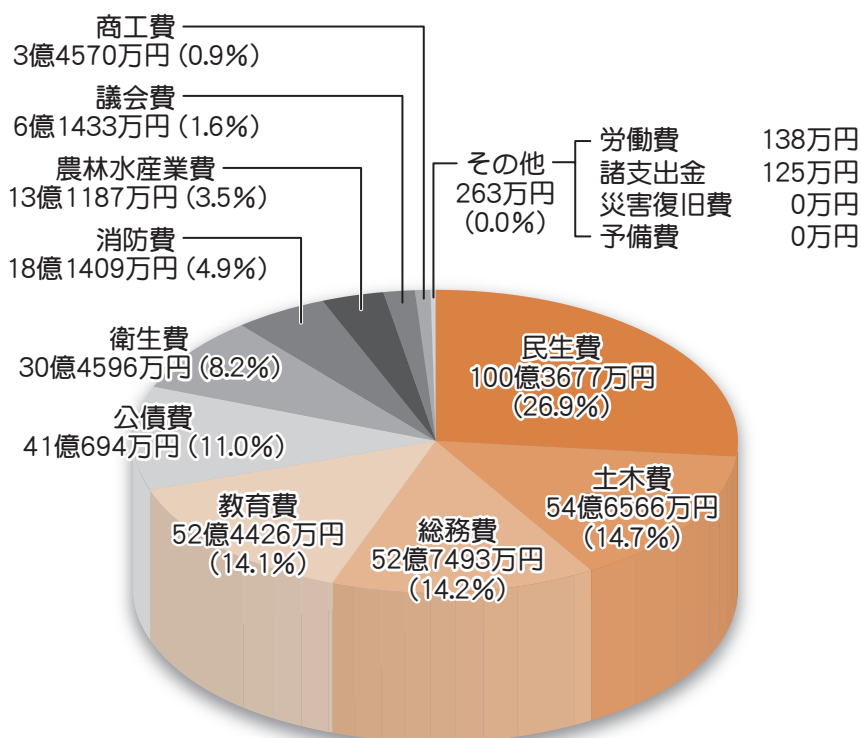
前年度と比べて増加した主なものは、民生費では児童手当支給対象者の拡大により「児童手当支給事業」の増、合併(市制)により旧総和、旧三和の生活保護費支給事業が市での対応となったことで「生活保護事業」の増、国民健康保険、介護保険など特別会計への繰り出し金の増加により6.0%の増となりました。

衛生費では、坂東市に建設中のごみ処理施設の整備に伴う負担金「さしま環境管理事務組合負担金

事業」の増、クリーンセンター施設の設備補修工事「クリーンセンター管理運営事業」の実施等により21.6%の増となりました。

前年度と比べて減少した主なものは、総務費では平成16年度実施の三和支所(旧三和町庁舎)の建設事業(工事費18億1354万円)の終了により22.6%の減、労働費では中小企業特別委託事業(4549万円)の終了により97.3%の減、公債費では平成6・7年度に借り入れを行った減税補てん債の元金一括償還(26億1690万円)の終了により40.1%の減、諸支出金では前年度に財政調整基金、公共施設整備基金への積み立てを行ったことにより99.9%の減となりました。

一般会計 歳出決算額 372億6313万円



財政用語

○自主財源

地方公共団体が自主的に収入しうる財源をいう(地方税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入)

○投資的経費

支出の効果が資本形成に向けられ、施設等将来に残るものに支出される経費をいう(普通建設事業費、災害復旧事業費等)

市民1人当りに してみると……

市民1人が納めた市税の額

個人市民税	3万5391円
法人市民税	1万3419円
固定資産税	5万5295円
軽自動車税	1368円
たばこ税	7005円
都市計画税	7243円
入湯税	16円
合計	11万9737円

あなたの納めたお金はこのように使われました

民生費(高齢者や児童の福祉の充実)	3万2251円
土木費(道路・公園・河川の整備)	1万7563円
総務費(住民登録・交通安全・選挙など)	1万6950円
教育費(学校教育・生涯学習・文化財保存)	1万6851円
公債費(借入金の返済)	1万3197円
衛生費(ごみ処理・健康対策など)	9788円
消防費(消防・救急・防災活動)	5829円
農林水産業費(農業の振興)	4215円
議会費(議会の運営)	1974円
商工費(商工業・観光の振興)	1111円
その他	8円

特別会計の概要

特別会計(9会計)の決算額を合計すると、歳入が342億809万円(前年度対比2.6%増)となり、歳出が338億982万円(前年度対比5.2%増)となりました。

前年度と比べて増加した特別会計は、国民健康保険特別会計(事業勘定)で10億3248万円の増、介護保険特別会計(保険事業勘定)で4億2601万円の増となりました。

また、古河駅東部土地区画整理事業特別会計は、合併前は「古

河・総和土地区画整理一部事務組合」で行っていたものであり、合併に伴い特別会計として引継ぎ新設されたものです。

会計区分	予算額	収入額	支出額
国民健康保険特別会計(事業勘定)	138億 798万円	134億4756万円	134億1945万円
国民健康保険特別会計(直診勘定)	1億 208万円	1億 344万円	8544万円
老人保健特別会計	91億5625万円	88億7388万円	88億4039万円
介護保険特別会計(保険事業勘定)	47億2603万円	47億4518万円	46億6819万円
公共下水道事業特別会計	52億4129万円	51億7889万円	51億3651万円
農業集落排水事業特別会計	10億8614万円	10億7990万円	10億2235万円
ゴルフ場事業特別会計	4億 642万円	3億8788万円	3億8781万円
古河駅東部土地区画整理事業特別会計	2億 828万円	2億1076万円	1億3382万円
広域中央運動公園特別会計	1億8632万円	1億8062万円	1億1585万円
合計	349億2078万円	342億 809万円	338億 982万円

水道事業会計の概要

(平成17年9月12日以降)

古河市水道事業では、市民の皆さんに、おいしい水をいつでも安心してお使いいただけるように、「浄水場や水道管などの施設の整備」「水質の管理」「漏水の修理」など、さまざまな仕事を行っています。

こうした仕事に要する経費のほとんどは、一般の行政サービスが税金で賄われているのに対し、水道事業は皆さんにお支払いいただ

いている水道料金、国などからの借入金によって賄われています。公営企業である古河市水道事業の経営については次のとおりです。

主要事業

施設整備では、思川浄水場の拡張工事、三和浄水場の取水施設改良工事、未整備地区の解消を目的とした配水管布設工事、また、石綿セメント管等の配水管布設替工事を実施しました。

業務概要

給水人口	138,951人
給水戸数	49,110戸
年間総給水量	8,505,885m ³
1日最大給水量	46,725m ³

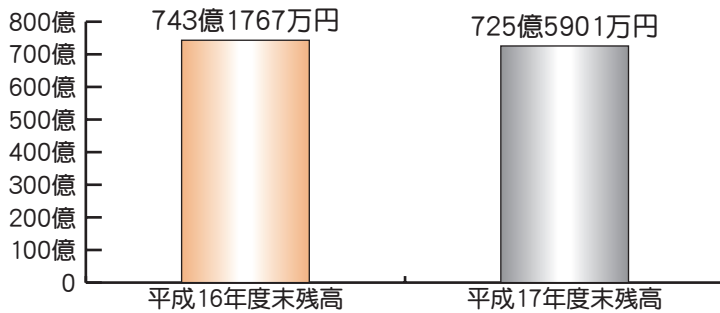
決算

収益的収入	11億5319万円
収益的支出	12億6171万円
収支差額	△1億 852万円
資本的収入	3142万円
資本的支出	8億4333万円
収支差額	△8億1191万円

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、引継ぎ補てん財源で補てんしました。

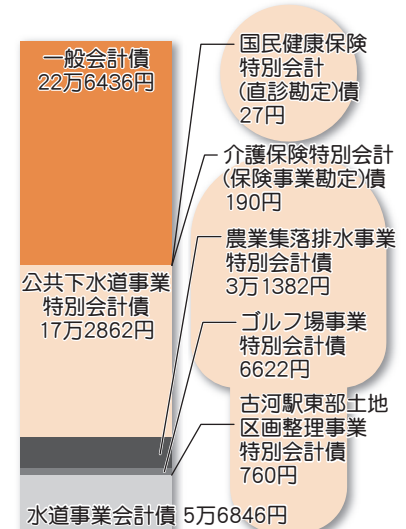
市の借金

市全体の借金(起債)は平成17年度末で725億5901万円となりました。市民1人当たりの借金額は49万5125円となります(平成18年4月1日現在、総人口14万6547人で計算)。



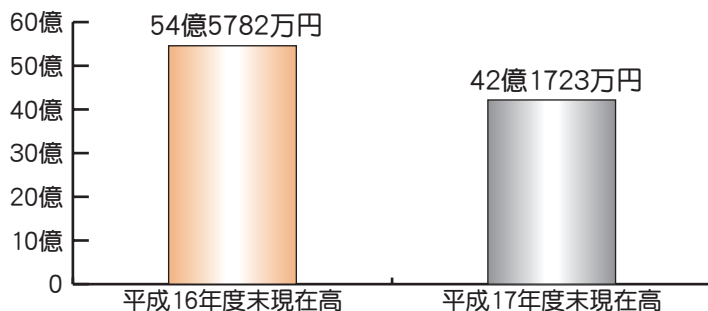
会計区分		平成16年度末残高	平成17年度末残高
一般会計		340億7947万円	331億8347万円
特別会計	国民健康保険(直診勘定)	487万円	403万円
	介護保険(保険事業勘定)	2866万円	2780万円
	公共下水道事業	258億378万円	253億3236万円
	農業集落排水事業	43億4810万円	45億9898万円
	ゴルフ場事業	11億6695万円	9億7044万円
	古河駅東部土地区画整理事業	1億1959万円	1億1130万円
水道事業		87億6625万円	83億3063万円
合計		743億1767万円	725億5901万円

市民1人当たりの借金



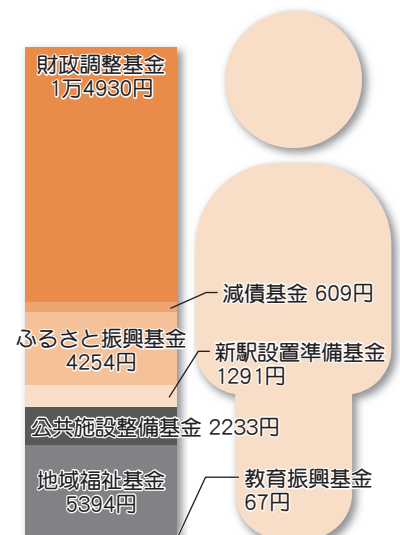
市の貯金

市全体の貯金(基金)は平成17年度末で42億1723万円となりました。市民1人当たりの貯金額は2万8778円となります(平成18年4月1日現在、総人口14万6547人で計算)。



基金名	平成16年度末現在高	平成17年度末現在高
財政調整基金	24億1236万円	21億8789万円
減債基金	9億7412万円	8928万円
ふるさと振興基金	6億3382万円	6億2342万円
新駅設置準備基金	2億8902万円	1億8915万円
公共施設整備基金	3億2727万円	3億2729万円
地域福祉基金	8億1146万円	7億9043万円
教育振興基金	977万円	977万円
合計	54億5782万円	42億1723万円

市民1人当たりの貯金



平成18年度予算の執行状況(9月末現在)

一般会計

平成18年4月から9月末までの歳入は、合計で194億628万円となりました。主なものは市税が99億8208万円、地方消費税が8億286万円、地方交付税33億4064万円、国庫支出金10億4164万円となっています。

市税の主なものは、個人市民税27億5395万円、法人市民税11億1086万円、固定資産税54億6902万円となっています。

歳出は、合計で154億8655万円となりました。主なものは総務費20億6415万円、民生費40億2258万円、土木費21億98万円、教育費20億5685万円、消防費10億4433万円、教育費20億5685万円となっています。

康保険特別会計(事業勘定)53億8853万円、老人保健特別会計37億3778万円、介護保険特別会計(保険事業勘定)21億4482万円、公共下水道事業特別会計18億6736万円となっています。

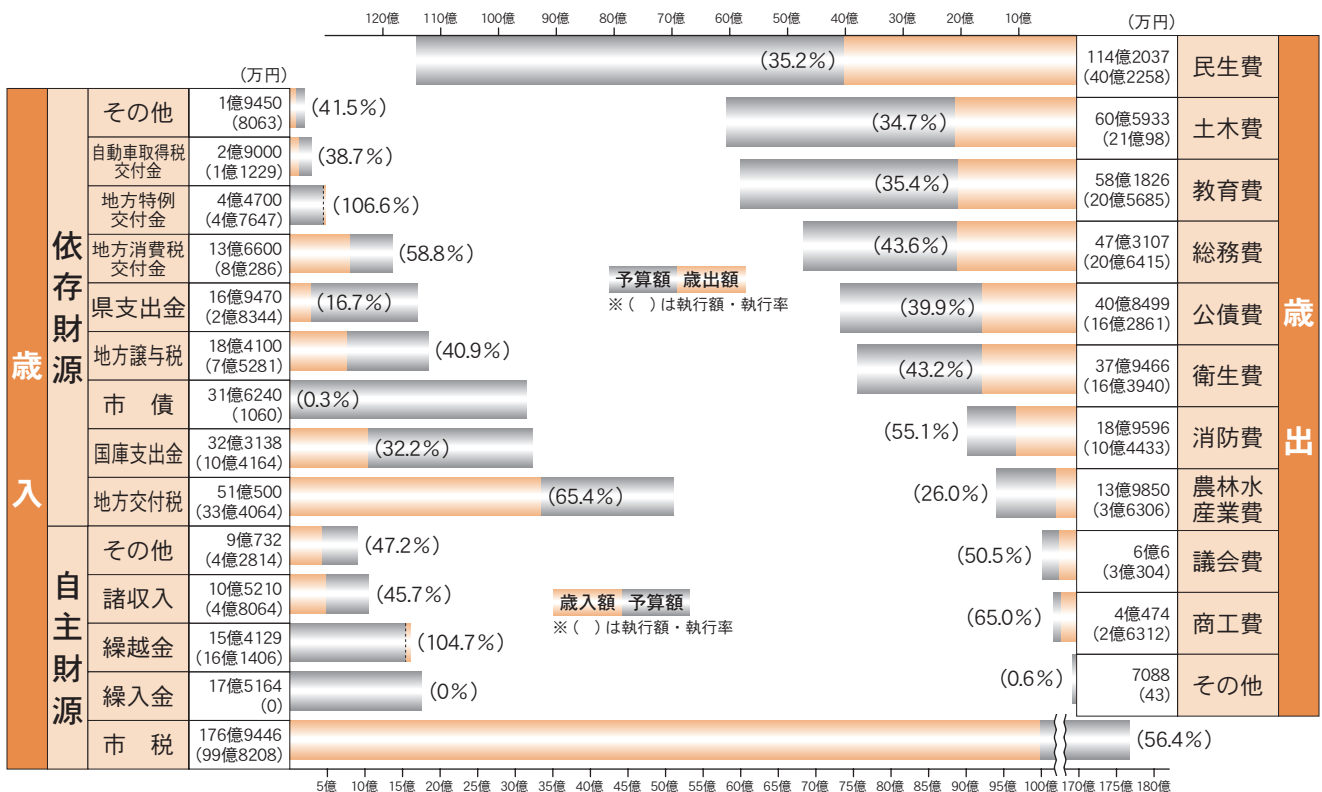
特別会計

特別会計(11会計)歳出の執行状況は、合計で137億979万円となっています。

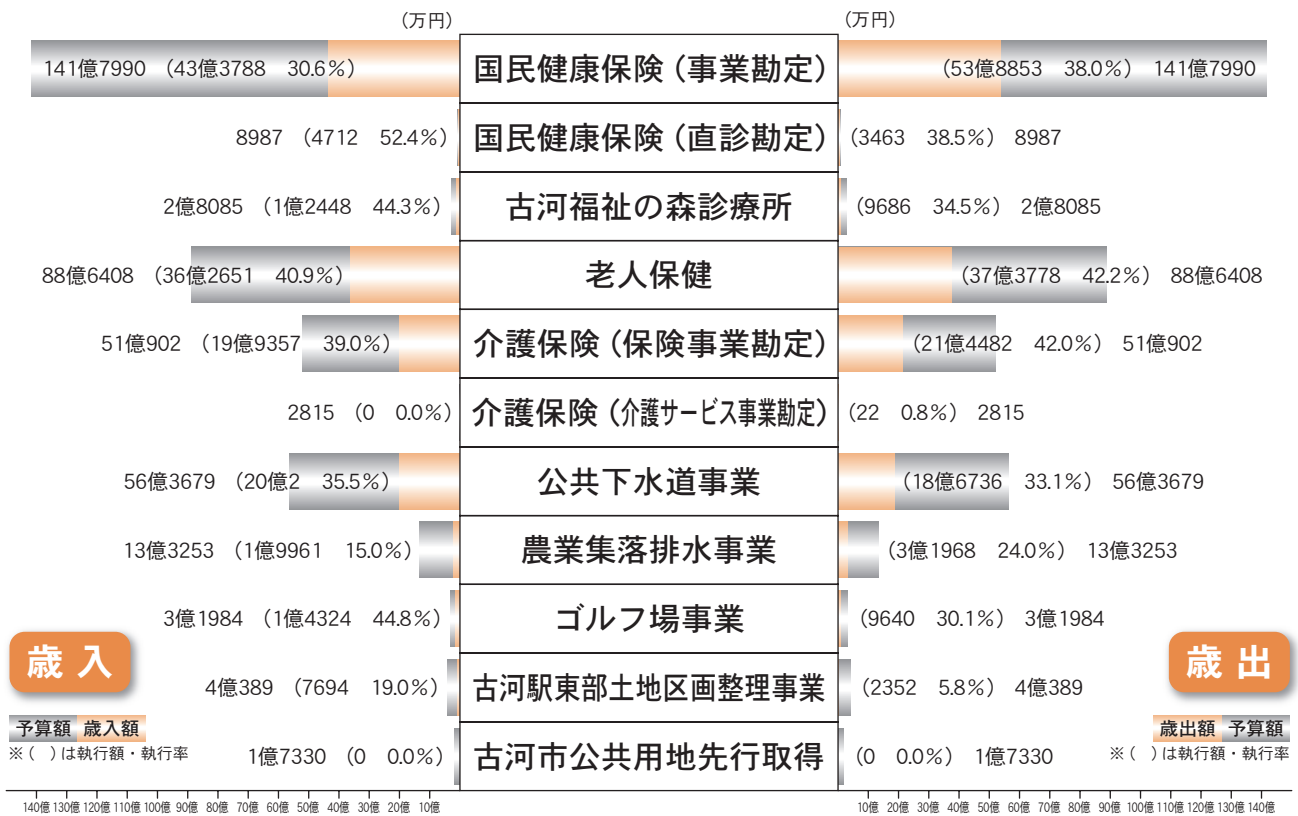
主な特別会計の状況は国民健



平成18年度 一般会計予算執行状況



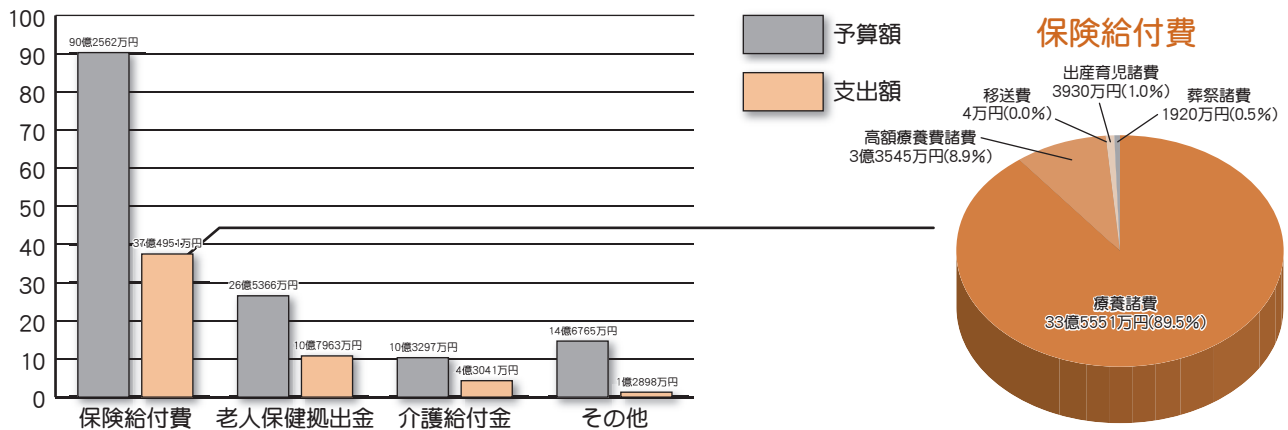
平成18年度 特別会計予算執行状況



主な特別会計予算の歳出状況

○国民健康保険特別会計(事業勘定)

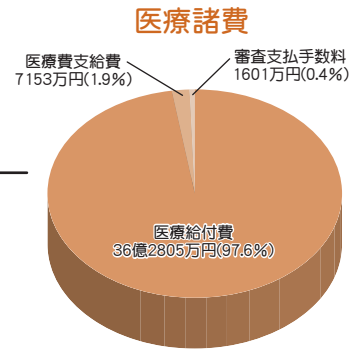
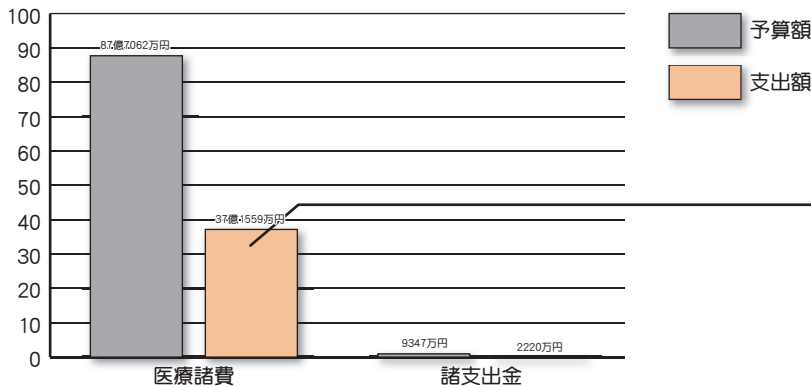
(億円)



主な特別会計予算の歳出状況

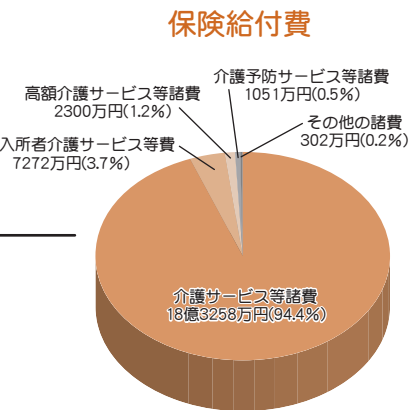
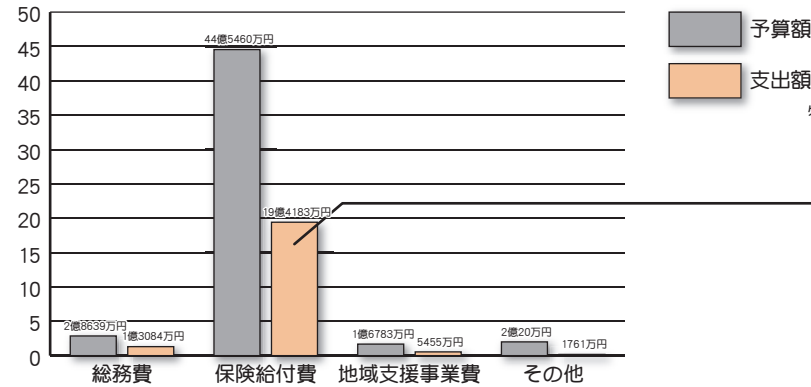
○老人保健特別会計

(億円)



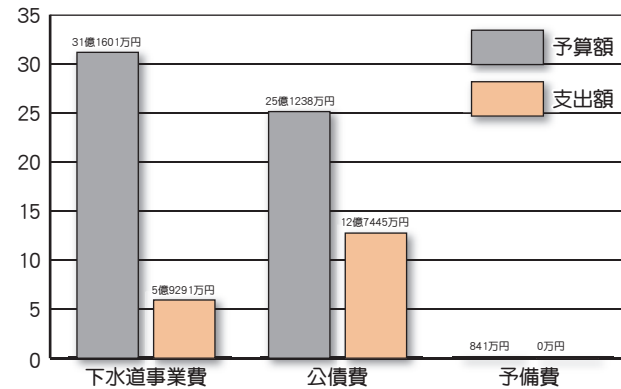
○介護保険特別会計(保険事業勘定)

(億円)



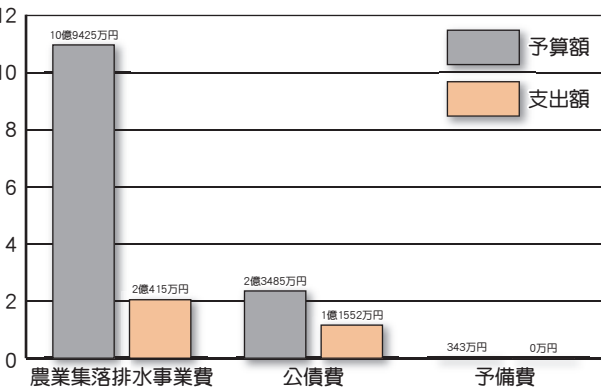
○公共下水道事業特別会計

(億円)



○農業集落排水事業特別会計

(億円)



平成18年 第3回古河市議会定例会



平成18年第3回古河市議会定例会が9月5日～22日の日程で開催されました。

市長から提案された案件は諮問2件、議案27件、認定12件で、全議案原案可決されました。また、議員から議案1件が提出され、原案可決となりました。

市長提出議案

- 古河市公共事業再評価委員会設置条例の制定について
- 古河市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 古河市職員の公益法人等への派遣等に関する条例の一部改正について
- 古河市公共用地先行取得特別会計条例の制定について
- 古河市手数料条例の一部改正について
- 古河市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について
- 古河市国民健康保険条例の一部改正について
- 松岡奨学基金条例の一部改正について
- 消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 古河庁舎併設市民集会施設設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 古河市福祉、保健及び医療に関する施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 古河市三和農村環境改善センターの設置及び管理等に関する条例の一部改正について
- 古河市古河体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 古河市三和野球場の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 古河市三和健康ふれあいスポーツセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 財産の取得について
- 平成18年度国補北町第一雨水調整池工事請負契約締結について
- 平成18年度古河市公共用地先行取得特別会計予算
- 平成18年度古河市一般会計補正予算(第4号)
- 平成18年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)
- 平成18年度古河市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第1号)
- 平成18年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算(第2号)
- 平成18年度古河市老人保健特別会計補正予算(第2号)
- 平成18年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)
- 平成18年度古河市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成18年度古河市ゴルフ場事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成18年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

議員提出議案

- 飲酒運転撲滅を宣言する決議

いきいき生涯学習



「まなびこそ、輝くあなたの第一歩」生涯学習は私たちに楽しく充実した毎日を送らせてくれます。その生涯学習の全国的な祭典、第18回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006」が開催されました。

学びたいときに楽しく学ぶ

一人ひとりが自由に、自らテーマを選び、自分にあった手段・方法で、生涯にわたり、必要なことや興味関心のあることを、必要なときに学ぶこと……それが生涯学習です。個人で、あるいは仲間とともに、楽しく学びながら、自分の考え方や生き方を変えるきっかけをつかむことが生涯学習の意義であり、面白さでもあります。

まなびピアいばらき開催

学習活動への参加を促進し、生涯学習の振興を目的とした全国生涯学習フェスティバルが、10月5日から9日まで開催されました。主会場は水戸市の茨城県民文化センターや笠松運動公園でしたが、古河市も県内地域開催地6市町の一つとして10イベントを実施。特に、10月7日に開催された第9回青少年のための科学の祭典古河

大会には、市内全小中学校・総和工業高校・一般団体等が出展し、たくさんの人が訪れて科学の不思議を体験しました。

いつでも、どこでも、誰でも学べるのが生涯学習。あなたも今興味のあることを、より深く学んでみてはいかがでしょうか？

なお、各種協賛事業が11月まで開催されていますので、ぜひご来場ください。

【問】本庁生涯学習課 ☎92-1906



◀ 青少年のための科学の祭典古河大会。広域中央運動公園で開催されました



▶ 手づくりロケットの打ち上げ。ロケットは、市内の小学生が9月の講習会で製作したものです



▲ 県西ロボコン古河大会



▲ スポーツチャンバラ体験



▲ まなびピア茶会



▶15日の「民俗芸能の集い」。各地区の御輿や山車が一堂に会し、威勢のよいお囃子を演奏しました。メインステージ上では神楽やささらも披露されました

新「古河市」誕生記念

第8回 総和 関東ド・マンナカ祭り

秋空の下、歌や踊り、お囃子、^{はやし}買い物で賑わうたくさんの人々—10月14日と15日の2日間にわたって広域中央運動公園で開催された新「古河市」誕生記念第8回総和関東ド・マンナカ祭りには、約10万人が来場しました。

祭りの内容は、マイステージコーナー(歌・踊り)やダンス、花火、山車・御輿のパレードなど盛りだくさん。輪になって踊る「みんなで踊ろう関東ド・マンナカ」では、参加者全員が一体となって盛り上がりました。

▼14日にメインステージ前で行われた「みんなで踊ろう『関東ド・マンナカ』」。この後には、関東ド・マンナカ音頭のサンパバージョンを踊る「サンパダンスストリート」も行われました



▲14日の夕方から開かれた「舞DANCE in ド・マンナカ」。当日、ネーブルパークで開催された「総和三和舞祭2006」の出演者も参加し、総勢30組のダンスチームが華麗なダンスで会場を沸かせました

全国大会出場！

全日本選抜少年柔道大会

力善柔道クラブ

9月23日、東京武道館で行われた平成18年度全日本選抜少年柔道大会に力善柔道クラブ(江澤巧実くん、吉原貴大くん、鈴木航平くん、中沢嵩史くん、横山堯世くん)が出場。見事3位に入賞しました。



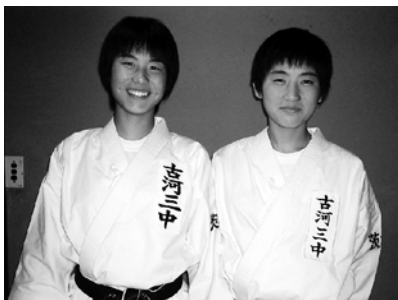
力善柔道クラブ

空手道全国選手権大会

全国中学生空手道大会

染谷香予さん、染谷真有美さん

7月9日、大阪市中央体育館で行われた第46回空手道糸東会全国選手権大会に染谷香予さん(古河三中3年)、染谷真有美さん(古河三中1年)姉妹が出演。中学女子組み手の部で香予さんが見事



染谷香予さん(左)、真有美さん(右)

優勝、真有美さんが準優勝しました。これにより2人は、9月16日から18日にかけて東京武道館・日本武道館で行われた第5回世界選手権大会に出場。香予さんは15歳以上16歳以下の部で見事3位に入賞、真有美さんは13歳以上14歳以下の部で惜しくも1回戦敗退となりましたが、力の限り戦いました。

また、2人は8月19日・20日に京都市体育館で行われた第14回全国中学生空手道選手権大会にも出場しました。

全国中学校選抜水泳大会

小野澤遥さん



8月21日から23日にかけて高知市くろしおアリーナで行われた第46回全国中学校選抜水泳大会に小野澤遥さん(古河一

中3年)が出演。200Mバタフライで6位に入賞しました。

少林寺拳法全国大会

少林寺拳法三和支部

7月23日、広域中央運動公園総合体育館で行われた少林寺拳法茨城県大会に少林寺拳法三和支部が出演。中学生団体の部、中学生組演武、小学生組演武でそれぞれ最優秀賞に輝きました。これにより、10月8日に北海道立総合体育センター“きたえーる”で行われた少林寺拳法全国大会in北海道に出演し、出演者全員が優秀賞という成績を収めました。

・中学生団体の部

羽鳥真由美、佐川智英、佐川圭佑、小野竜成、大山哲哉、小島一弥、田崎壮宗、塚原卓也

・中学生組演武

尾形美菜、田崎温美

・小学生組演武

並木毅、小島翼

福祉のお祭り ふれあい広場

9月30日、ネーブルパークで第21回ふれあい広場が開催されました。これは、子どもからお年寄り、ボランティアや障害者が一堂に会し、ふれあいの中から福祉の目を育てようというイベント。来場者は手話や点字を体験したり、ステージでの演奏を見たりして楽しい1日を過ごしました。



▲拡大写本に挑戦

女性のための交通安全教室

10月1日、とねミドリ館(生涯学習センター総和)で、女性のための交通安全教室が開かれました。この教室は、古河市交通安全母の会連合会と(社)茨城県自動車整備振興会県西ブロック会主催によるもので、子どもと女性ドライバー約120人が参加しました。

会場では、市内の自動車整備士の指導による車の日常点検やタイヤ交換等の実技講習のほか、シートベルト体験車を使った衝突体験、道路交通標識ビンゴゲームなどが行われ、参加者の皆さんは楽しく学んでいました。



▲タイヤの交換方法を教わる参加者の皆さん

シャンソンに酔いしれる夜

古河市民芸術鑑賞の集いが、10月14日、三和健康ふれあいスポーツセンターで開かれました。この集いは、住民の芸術に対する意識の向上を図ろうと旧三和町から開かれてきたもので、今回で19回目となります。

この日は、昨年、歌手生活40周年という節目を迎えた加藤登紀子さんのコンサート。「原点に戻って改めてシャンソンを歌っている」と話す加藤さんは、『百万本のバラ』や『枯葉』など約20曲を熱唱し、訪れた皆さんを魅了しました。



▲『知床旅情』などを客席と一緒に大合唱しました

独立開業を目指して修行中

古河駅西口まちなか再生市民ひろば内で、チャレンジショップ「シティーマーケットHana」(実験的店舗)が営業中です。

まちづくり会社榎雪華による中心市街地活性化対策の一つで、商店街の活性化につながる新規開業者を育成しようと、実践的な店舗経営の場を提供しています。現在2人のチャレンジャーがブティックと天然石アクセサリーのお店を出店し、経営のノウハウを勉強中。皆さんもぜひお店を訪れて、意欲あふれるお二人を応援してください。



▲チャレンジショップに出店している大下律子さん(左)と石塚信子さん(右)

日本の伝統文化に触れました

10月1日、鷹見泉石記念館で、「呈茶席」が開催されました。

当日の席主は、丸山宗照さんと茂田仙愛さん。花や御菓子、秋を感じさせるものが用意され、参加した人たちは、泉石邸の落ち着いた佇まいの中、ゆったりしたひとときを楽しんでいました。



▲優美な作法でおもてなし



▲「和」の時間を満喫しました



▲JT女子バレーボール部は、各地でバレー教室も
行っています(左から朝倉選手、谷口選手、倉本さん)

今回、執筆のお話をいただいた時、正直私のような者が受けていいものかと危惧しました。今では多くて年に二回ほどしか古河の地を踏まない、しかも帰省したときには、ほとんどの時間を実家で、(グウタラ)過ごしているだけの私が、ふるさと古河のことについて書けるのだろうか…？

けれども、よく考えてみたら私の年代(23歳です)では、私と同じようにごくたまにしか帰省しない人たちも多いのではないのでしょうか。そんなことを考えてみると、私の立場から書いてみるのも悪くないのかも知れません。

現在、私は兵庫県西宮市に住んでいます。高校野球で有名な甲子園球場まで自転車でわずか5分ほどのところなので、阪神タイガースが勝利した時など、「六甲おろし」の大合唱が聞こえてくるほどです。

西宮市から、遠く茨城県古河市に思いを馳せる……。浮かんでくるのは、家族、それに親せきです。私にとっては、ふるさと＝家族であり古河に住む人たちです。職業柄、日々日本のトップアスリートと過ごしていると、やはりそれなりの緊張感、向上心を維持し続ける必要があります。緊張感、向上心を保つ秘けつ——それは、心の中にどこか安らげる場所を持っていることだと思います。そして、そのうちの 하나가、ふるさと古河の存在です。

私が三和町を離れている間に、三和町が古河市になりました。帰省したときに目に入る景色も随所に進化の様子がかがえ、ああ、古河も日々成長しているのだなぁと感じています。私が実家を離れている間に、このまちは着々と進化していた、そして今も成長を続けているであろう古河のまちのことを思うと、私も負けていられないなと思ってしまいます。安らぎの場であると同時に、まるでライバルでもあるかのようです。いつでも味方してくれ

るんだという広大な温かさと、遠く離れてはいるけれど、お互いの成長を見守り合っていく仲間のような感覚、その二つをいつまでも感じさせてくれるまちであって欲しいと思います。



兵庫県在住
倉本 匡子さん

名崎小学校、三和東中学校、土浦第一高等学校を卒業。そして同志社大学を卒業した後、同大学院総合政策科学研究科で行われたスポーツマネジメントスクールを修了し、昨年8月、JT女子バレーボール部(JTマーヴェラス)マネージャーに就任。JT女子バレーボール部には、全日本メンバーの竹下主将や菅山選手、宝来選手などが所属している。

体験学習で防災意識を高める 上辺見行政区

上辺見行政区では、毎年10月に防災のための講習会や体験学習を実施しています。今年も10月22日に東京の本所防災館へ行き、体験学習を行いました。参加したのは25人。この本所防災館では、大きな部屋での地震体験や、モニターを使った消火訓練などができ、楽しみながら防災体験ができます。「ここで体験すると地震や火事の怖さがよく分かる」と参加者の皆さんは話していました。

また、毎年秋には行政区内でソフトボール大会を開催しています。会場は、陸上自衛隊古河駐屯地内のソフトボール場。例年、男子だけで試合をしていましたが、今年は参加人数を多くするため、男女混合でしかも中学生から出場できるよう

にしました。

上辺見には昔からのお祭りもあります。7月に香取神社で行う夏祭りがそれ。お祭りは各町内に「頭」と呼ばれる人がいて、その人が中心となってお祭りを

行っています。

「最近では、行事に参加する人がいつも同じメンバーになってしまい、新しく参加する人がいないのが悩みです」と話すのは行政区長の青木良伸さん。

「若い親を行事に誘うために、まずは子ども

を集めて昔の遊びや卓球などのスポーツを始めようと考えていますが、場所やけがの問題もあってなかなか難しい。でも、参加する人をなんとか多くして地域の活動を活発にしたいですね」と青木さんは話していました。



▲上辺見のお囃子が関東ド・マンナカ祭りに参加

My Hobby

卓球で健康な毎日を ニュースポーツクラブ

元気にラケットを振り、楽しそうに卓球に興じる皆さん。テンポのよいラリーの応酬に、思わず目を奪われます。

平成5年、旧三和町の「ニュースポーツ教室」の参加者によって結成されたこのクラブ。ニュースポーツの「ラージボール」に代えて、今は「硬式卓球」を中心に、毎週金曜日の午前中、三和健康ふれあいスポーツセンターで活動しています。現在の会員は、50歳代から80歳代までの23人。皆さんとても若々しくて、年齢を感じさせません。

「勝敗にはこだわらず、何より仲間と楽しむことを大切に活動しています」と話す

会長の渡辺さち子さん。激しく動かなくてもできる卓球は、実は中高年にぴったりのスポーツです。無理やケガの無いよう30分練習したら交代し、15分休憩を取るなど練習プランも工夫されています。

また、クラブでは、新年会、花見会、一泊旅行、忘年会など、親ばく会も盛りだくさん。和気あいあいとした雰囲気は、そういった中から生まれてくるようです。

「健康維持のためにも、ずっと続けたいですね。これも医療費削減の社会貢献かな」と笑う渡辺さん。仲間と一緒に卓球でさわやかな汗を流し、毎日生き生きと過ごしてもらいたいですね。



▲皆さん、健康そのものですね

マツムシは、“チンチロチンチロ チンチロリン”
スズムシは、“リンリンリンリン リーンリン”
童謡「秋の虫」に登場するのは、そのほかコオロギ、クツワムシ、ウマオイ、スイッチョン……。

皆さんは虫の声を聞き分けられますか？ どんな姿をしているのか知っていますか？ 三和ふるさとの森では、たくさんの虫たちが個性豊かな鳴き声で私たちに迎えてくれます。その声は、バイオリン、ピオラ、そしてチェロと、まるでオーケストラのよう。それがベートーベンに聞こえるか、モーツァルトに聞こえるか、それともただの雑音に聞こえるかは、皆さんの心次第。虫の声、風の音、木々のささやき——心静かに自然と一体になれば、そんな「森の声」が優しく聞こえ、木々の緑も美しく見えるはずです。



▲森の声を聞きながら散策はいかがですか？

自然林を生かした三和ふるさとの森は、遊歩道がきれいに整備され、ところどころに休憩用のあずまやがあるなど、お年寄りや小さいお子さんにも優しい場所。身近な自然環境について考えたり、子ども

たちと虫や植物の勉強をしたりするのに最適です。

春・夏・秋・冬——三和ふるさとの森では、季節ごとに「森の顔」があるように、季節ごとに「森の声」が聞こえます。街中の喧騒から離れ、小さいけれど優しく四季の移ろいを教えてくれる森の声に、耳を傾けてみませんか？

【問】 三和ふるさとの森管理事務所(東諸川711-1)
☎77-3813(午前9時～午後4時)
※毎週月曜日と年末年始は休業

ブックレビュー

—Book Review—

小林久三 著

『皇帝のいない八月』

今月は古河出身の推理作家・小林久三氏の傑作『皇帝のいない八月』をご紹介します。この作品については、文芸評論家の権田萬治氏が「迫力に富む政治サスペンス小説の秀作」「多くの人々に読んでもらいたい作品である」と絶賛しています。

刊行と同時に、監督・山本薩夫、渡瀬恒彦、吉永小百合、三國連太郎、高橋悦郎、山本圭といった豪華キャストで映画化され、非常に大きな反響を呼んだ作品でした。

列車ジャックという鉄道ミステリーを装いながら、自衛隊のクーデター計画を扱った政治サスペンス小説。社会性あふれる題材と、映



▲往年の小林久三氏と『皇帝のいない八月』（新風舎文庫）

画的でダイナミックな展開を持った『皇帝のいない八月』は、映画界から作家に転身した小林久三ならではの作品といえましょう。

さて、大変残念なことですが、小林久三氏は、去る9月1日、脳梗塞のため逝去されました。

氏は江戸川乱歩賞受賞作で直木賞候補にもなった『暗黒告知』や、角川小説賞受賞作『父と子の炎』をはじめ、社会性豊かな作品を数多く手がけてきました。その

中には『むくろ草紙』『火の鈴』『帝都発幻影列車』『一億円の手錠』『真夏の妖雪』『蒼ざめた祖国』など、古河を舞台としている作品も少なくありません。そこには「ふるさと・古河」に対する思い入れの強さも伝わってきます。

特異な発想力と展開力、そして、まるで映像を見ているかのような描写力に支えられた、たぐいまれなストーリーテラーとして、小林久三氏は推理文壇において一時代を画しました。

近年は心筋梗塞と二度の脳梗塞を患いながらもリハビリに励まれ、今年に入ってから執筆活動も再開されていたというだけに、このたびの急逝は何とも無念でなりません。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

(古河文学館 秋澤正之)

古河風土記 聖護院門跡道興と古河

室町時代後期、一人の僧侶が古河市域を訪れ、しばらくの間逗留（とまりゆ）をしていました。その僧侶の名は道興（どうきょう）、京都の本山派修験（しゆげん）の中心である聖護院（せいごいん）の門跡（もんせき）（住持）を務める人物です。彼は文明18年（1486年）6月上旬に京都を出発し、若狭国（わかさのくに）（福井県）から越前・加賀・能登・越中・越後国（福井・石川・富山・新潟県）へすすみ、7月15日には越後国府に着き上杉氏の接待を受けています。それから上野国（群馬県）にはいり、山伏の寺坊大蔵坊（高崎市、旧群馬町）などに逗留し、武蔵国（埼玉県）の岡部の原（深谷市、旧岡部町）・村君（羽生市）などを経て、浅間川の渡しを渡り、古河に着いたのは8月中旬過ぎと考えられます。



▲道興が訪れた水海の三島神社

道興の紀行歌文集『廻国雑記』によると、「古川（古河）といふ所にて舟にのりて」歌を二首詠み、「なり田（中田）といへる所にてはじめてふじ（富士）をながめて」三首詠み、「下総国こほりの山といへる所に伊豆の三嶋を勧請し奉りて大社ましましけり、かの別当の坊にしばらく逗留し待るうちに」数首の歌を詠んでいます。

「古川」とは「古河」、「なり田」は「なか田」の誤記で「中田」のこと、「こほりの山」は市内の水海地内に当たり、現在「凍ノ山」の地字名が残っていて、中世には周辺を含む地域を郡山郷と称していました。水海には現在でも三島神社があり、道興はこの三島神社の別当の坊にしばらく逗留していたようです。

古河から中田を経て水海にいたるまでは、舟で移動していたことがわかり、古河と水海が水運で結ばれ、それぞれ河川津として発展していたことをうかがわせます。

その後道興は、上総・安房国から鎌倉をまわって9月8日ごろ再び市内の鳥喰（とりはみ）を通り、佐野・日光方面へと向かい、常陸・武蔵・相模・甲斐・上野・下野国など関東各地を経て、陸奥国（宮城県）の松島に向かっていきます。

道興は、ただ物見遊山で諸国をまわっていたのではなく、在地の有力武士と交流をもち、また山伏の寺坊を訪ねることによって、本山派修験教団の組織の拡大をはかっていたと思われます。

（生涯学習課文化財保護係）

図書館おすすめの図書

◇一般書

・インドなんて二度と行くか！ポケ!!・・・でもまた行きたいかも

さくら 剛 著

引きこもりの著者が、ニートの現状を憂い一念発起してインドへ出発。1カ月の間にさまざまな人と出会い、騙され、騙され、騙され……。

トラブルだらけの道中を、笑いをさそう文章とたくさんの写真で振り返る、新感覚旅行記。

出版社…アルファポリス

分類…292サ

・末期ガンになったIT社長からの手紙

藤田 憲一 著

若手IT社長の著者が突然受けた「余命3カ月」の宣告。絶望と戦いながらも、幸福とは何か、死

とは何かを考え続け、残された人生の総仕上げにかかる。闘病生活の中で書き下ろされた一冊。

出版社…幻冬社

分類…916フ



◇児童書

・ラスト・ドッグ

ダニエル・アーランハフト 著

金原 瑞人 訳

義父との仲がうまくいかないローガンの唯一の友達は、犬のジャックだった。だが、犬を媒介

とするおそろしい伝染病がひろまり、街はパニックにおちいる。ローガンは必死にジャックを守ろうとするが……。

出版社…ぼるふ出版

分類…K933ラ

・あしたのねこ

エムナマエ 絵

きむら ゆういち 文

きつと幸せな明日がやってくる。どんなひどいめにあっても、その中にあるいいところを見つけ、にっこり笑って生きていく。そんな前向きでひたむきな、こねこの物語。

全盲の画家が全身全霊で描き出す、希望の絵本。

出版社…金の星社

分類…Eア

[とねミドリ館(生涯学習センター総和)]

みんなが主役



男女共同 参画社会

「少子化と男女共同参画」について学習会を開催

男女共同参画推進委員会が主管となり、9月25日(月)、51人の参加者をもって学習会が開催されました。顧問である川上美智子氏は「少子化と男女共同参画」をテーマに、少子化の急速な進行の原因等具体事例を挙げて説明され、特にわが国においては、女性に対して、仕事か出産かの二者択一を迫る社会構造があり、これを見直す支援のひとつに男女共同参画が必要不可欠であると強調されました。

出生率の低下に歯止めをかけるためには、働く女性が安心して子どもを産み育てることができる環境を整えることが大切です。

仕事と家庭の両立支援や、働き方の見直しは少子化対策の柱と言えます。

この少子化対策の推進については、現在策定作業を進めている「古河市男女共同参画プラン」に組み入れていく予定です。



「男女共同参画に関する市民意識調査」 最終回収率がまとまりました

古河市男女共同参画プラン策定に伴い、市民・教職員・市職員に対して意識調査を、また、事業所に対して実態調査を行いました。その回収率は、次のとおりです。

	配布枚数	回収枚数	回収率
市民	2,000	651	32.55%
事業所	130	69	53.08%
教職員	479	430	89.77%
市職員	1,031	706	68.48%

パートナーシップin古河2006

～共に手をたずさえて ハートtoハート～

期 日 11月25日(土)

会 場 生涯学習センター総和
(とねミドリ館)

参加費 無料

プログラム

12:00 開場

12:30 オープニング(ままびよ隊)

13:15 講演会 加藤 仁氏
(ノンフィクション作家)

14:45 アトラクション(全原創原太鼓)

【問】男女共同参画室 ☎92-3111

国保通信

《医療費を大切にしましょう》

医療費は年々増えています。医療費の主な財源は、皆さんからの保険税です。医療費が今以上に伸びると、国保制度を安定して運営することが難しく、保険税も値上げせざるを得なくなり、家計への負担も大きくなってしまいます。

○増える医療費

医療費は今後増加傾向にあります。私たちのちょっとした心掛けで、その上昇をとめることもできるのです。お医者さんのかかり方など見直してみましよう。

○医療費を大切に

市では、医療費の適正化対策の一環として、また、健康に対する意識を高めていただくことを目的に、2カ月に1度医療費の通知をお送りしています。

○健康づくりで医療費の節約を

栄養バランスのよい食生活と適度な運動、十分な休養で健康づくりに心掛け、生活習慣病を改善しましょう。

【問】本庁 保険年金課国保係 ☎92-3111、古河支所 保険年金課国保係 ☎22-5111、三和支所 保険年金課国保係 ☎76-1511

健康情報局

《メタボリックシンドローム》

日ごろの生活習慣が原因で起こる生活習慣病。糖尿病、心臓病、脳卒中、がんなどの発症に関係して最近問題となっているのがメタボリックシンドローム。メタボリックシンドロームとは、腹部肥満があり、高血圧、高脂血症、高血糖が2つ以上ある状態をいいます。

■自分のからだをチェックしよう

おへその高さで測った腹囲が男性の場合85cm以上、女性の場合90cm以上あるか？（必須項目）その他に①中性脂肪値150mg/dl以上またはHDL(善玉)コレステロール値40mg/dl未満かどうか？ ②収縮期(最大)血圧が130mmHg以上または拡張期(最小)血圧85mmHg以上かどうか？ ③空腹時血糖値が110mg/dl以上かどうか？

これら3つのうち、2つ以上当てはまると、メタボリックシンドロームといえます。当てはまる数が多いほど動脈硬化になりやすく、脳卒中や心筋梗塞などを引き起こす可能性が高くなります。

■メタボリックシンドロームを予防しよう

①食事：1日3食食べる。揚げ物よりも煮物、肉類よりも魚や大豆製品など和食中心の食事にして、腹八分目を目安に。また、色々な種類の食材から少しずつバランスよくとること。

②運動：内臓の脂肪は、運動によって落ちる効果が高いといわれています。30分以上の運動を週に2回行うことを目標に。ウォーキングやサイクリング、水泳などの有酸素運動がおすすめです。

③嗜好：お酒の飲みすぎは、肝機能を低下させるだけでなく、余ったエネルギーが脂肪として内臓にたまる原因になります。週に2回は、休肝日をつくること。また、たばこは、動脈硬化を促進させるため、禁煙をおすすめします。

年に一度は健康診断を受けましょう。自分の体の状態を知ることが病気の予防につながります。

(健康推進課)

表紙写真



10月8日に三和中学校校庭で行われた新「古河市」誕生記念第32回古河市民三和地区体育祭。強風の吹き荒れる中でしたが、皆さんは行政区対抗綱引きなどでさわやかな汗を流していました。

寄付

古河市納税貯蓄組合連合会(青木宏行会長)が、一般寄付として、15万1,277円を寄付。

株式会社ユーケン(監物孝子代表)が、イベント用として、紅白幕160枚およびソファベット4台を寄付。

人口と世帯

(10月1日現在 住民基本台帳から)

総人口 146,431人(-97)

男 73,429人

女 73,002人

世帯数 52,057世帯(-40)

() 内は前月比

ベジタブルチャウダー



エネルギー=365kcal
たんぱく質=22.5g
脂質=16.7g
塩分=1.1g

材料(4人分)

鶏肉(モモ)300g、たまねぎ1個、ミックスベジタブル120g、バター大さじ1、小麦粉大さじ3.5、スキムミルク60g、固形スープの素1個、水350cc、牛乳300cc、塩少々、こしょう少々、パセリ(みじん切り)適量、クルトン適量

作り方

- ①たまねぎと鶏肉をバターで炒める(弱火)。
- ②火を止め、小麦粉をふり入れてよく混ぜ、スープで溶いたスキムミルクと牛乳を少しずつ加えて、鍋底が焦げないように混ぜながら再び火にかける。
- ③沸騰してきたらミックスベジタブルを加えて塩・こしょうで調味し、パセリとクルトンをあしらう。

(食生活改善推進協議会)

アイドル登場

笑顔でみんなに幸せを運んでね

船山遥名ちゃん (2歳7カ月・駒羽根)



あなたの笑顔は我が家にたくさんの幸せを運んでくれました。ちょっとわがままでみんなを困らせることがあるけれど、パパもママもじいちゃんもばあちゃんもみんな遥名のことが大好きです。

どんなときでも笑顔を絶やさずにこれからもあなたの笑顔でみんなに幸せを運んでください。

いっぱい笑っていっぱい泣いて人に優しい子になってね。笑った数だけ泣いた数だけ強く優しく成長していけると思います。遥名の歩む道が幸せ満開の花道になりますように。(父：祐一郎さん・母：美和さん)

博物館 ニュース

古河を通る街道

日頃、何気なく往き来する道に、いくえにも重なる歴史の諸相が隠されていたとしたら……。

古河を通る往還の中には、そのような驚嘆に価する道や街道が多く残されています。

しかるに、時間に追われる日常であつて、ありきたりに見える道や路へ、特別な感慨を抱く暇は、なかなか持ち得ないもの。そこで、それらを探求するにあつらえむきの文化財をここに紹介することにいたしました。

その文化財、名称を『五海道其外分間延絵図並見取絵図』といい、全80巻で構成されています。成立年は、文化3年(1806)、すなわち江戸時代後期ということになりました。現在、国の重要文化財に指定されており、東京国立博物館に架蔵されています。



▲『日光道中間延絵図』巻三「古河町」部分 国指定重要文化財 東京国立博物館蔵

今ふうにいえば、国土交通省作成の全国主要国道マップといったところででしょうか。そして、この江戸時代版主要国道地図のなかに、古河市を通る街道が2筋も確認できるのです。

そのひとつは、日光道中。利根川に接する中田宿から茶屋新田、原町を経由して古河宿へ至る道中が、ゆたかな彩色の施された画面に俯瞰されています。

いまひとつは、関宿多功道。日光東街道という通称で親しまれるこの道は、こゝろにちの古河市域において、谷貝・仁連・諸川という3宿を含み、沿道の景観によく旧態を保存していることで知られています。

1800分の1の縮尺を持つ実測図には、国郡境・河川・一里塚・寺院をはじめ、宿駅では高札・本陣・脇本陣、立ち並ぶ家並みまでも見ることが出来ます。視覚に訴えようとする本図のありようは、わずかに描かれた古河城がこの町の特徴を十分に示していることでもあきらかといえます。さらに、見聞可能な古跡・古墳といった類まで描写しているのですから驚かされるではありませんか。

さてさて末尾ながら、この文化財の観覧を希望する向きへ。11月23日まで、これらの文化財を当館で見ることが出来ます。

古河歴史博物館学芸員 永用俊彦

平成18年11月1日発行

●発行所／〒3061029 茨城県古河市下大野2248
●編集／秘書広報課 ●ホームページ／<http://www.city.utsunomiya.lg.jp>

☎0280(92)3111